

第220回イタリア映画鑑賞会

入場無料

■日 時：2026年2月6日(金)18:00 開場/18:30 開演(20:45頃終演予定)

■会 場：イタリア会館・福岡 アートスペース・ギャラリー「スパツィオ」

◇福岡市中央区今泉1-18-24 季離宮〔中離宮2階〕

◇TEL 092-761-8570

※季離宮への入り口は1か所のみとなりますので、裏面記載の地図をご参照ください。

■入場料：入場無料／先着50名様

※事前申込は不要です。直接会場へお越しください。なお、定員(50名)になり次第、締め切らせていただきます。

※やむを得ず、急遽上映作品の変更や鑑賞会を中止にする場合がございます。



第220回上映作品 追悼：クラウディア・カルディナーレ 『刑事 Un Maledetto imbroglio』 (1959年118分 イタリア語/日本語字幕)

監督／	ピエトロ・ジェルミ
脚本／	ピエトロ・ジェルミ、アルフレード・ジャンネット、エンニオ・デ・コンチーニ
原作／	カルロ・エミーリオ・ガッダ『メルラーナ街の混沌たる殺人事件』
撮影／	レオニーダ・バルボーニ
音楽／	カルロ・ルスティケッリ
主題歌／	アリダ・ケッリ「死ぬほど愛して」
演出／	ピエトロ・ジェルミ、クラウディア・カルディナーレ、フランコ・ファブリツィ エレオノラ・ロッシ=ドラゴ

2025年9月23日、CC、クラウディア・カルディナーレさんが亡くなられた。享年87歳。

1938年4月15日、イタリア人の両親の元、フランス保護領時代のチニジアに生まれ、母語はフランス語。イタリア語は18歳になるまで話すことはなかった。

1957年、チニジアの美人コンテストで優勝したことでローマの映画実験センターで演技を学び、1958年『いつもの見知らぬ男たち』で映画デビュー。

BB(ブリジット・バルドー)、MM(マリリン・モンロー)らと並びCCの愛称で人気を誇った。

1966年、映画プロデューサーのフランコ・クリスタルディと結婚、離婚。1975年以来、映画監督のパスクアーレ・スキティエリと暮らしていた。ユネスコ親善大使にも就任し、教育を通じた女性の権利保護活動を進めていた。市井の幸薄い娘役を演じさせれば右に出るものはいないと私は思っている。

『刑事』(1959年)、『若者のすべて』、『汚れなき抱擁』(1960年)、『鞄を持った女』(1961年)、『山猫』、『ブーベの恋人』『8 1/2』(1963年)、『熊座の淡き星影』(1965年)、『プロフェッショナル』(1966年)、『ウェスタン』(1968年)、『家族の肖像』(1974年)、『鉄人長官』(1977年)他…。

『刑事』は、ローマで起きた殺人事件を捜査する警部の目を通して、市民の様々な人間模様を描き出す。

殺された家の女中アスティナをCCが演じ、主題歌「死ぬほど愛して」の曲と共に彼女が忘れられないラストシーンを追悼とさせてもらいます。

(解説 湯越 勘一)

« 会場：イタリア会館・福岡 アートスペース・ギャラリー「スパツィオ」 »

【当日緊急連絡先：070-7890-2262】



《お問合せ先》 福岡日伊協会 事務局 渡・古賀
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-3-6 西日本シティ銀行内
TEL: 092-476-2153 / FAX: 092-476-2634
E-mail: aigfukuoka2@galaxy.ocn.ne.jp